

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	15-065	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Wine, alcohol and pills: What future for the French paradox? ワイン、アルコール、錠剤；フレンチパラドックスの未来は？		
執筆者		
Biagi M, Bertelli AA.		
掲載誌		
Life Sci. 2015 Jun 15;131:19-22. doi: 10.1016/j.lfs.2015.02.024. Review.		
キーワード		PMID
ワイン、レスベラトロール、ポリフェノール、フレンチパラドックス		25841977
要 旨		
<p>目的： フレンチパラドックスとはアルコール飲料、特にワインの適量消費は循環器疾患に保護的であるというものである(フランスでは食生活の割に循環器疾患が少なく、このことからフレンチパラドックスと呼ばれている。一つのこれを説明する仮説として循環器疾患に対するワイン保護作用が言われている(訳者注))。適量飲酒が循環器疾患に防御的に作用すると報告される一方で反論する意見も多くあり、前動脈硬化的な影響を報告するものもある。</p> <p>方法： レビュー</p> <p>結果： アルコールでなくワインの消費が循環器疾患に保護的とする報告がある。ワインの非アルコール成分について検討すると、ワインの基質は複雑でレスベラトロールやポリフェノールは興味深い構成成分ではあるが、これらは他の食品にも含まれており、ワインに唯一のものというわけでもない。また赤ワインといってもレスベラトロール含有量にはかなりの違いがある。また大量のレスベラトロールを投与しても生物学的活性はごくわずかしかなかったことも実験動物やヒトにて証明されている。一方でワインに含まれるレスベラトロールを投与すると生物学的活性は 100nM から 1μM に達するという報告がある。もしフレンチパラドックスがレスベラトロールに帰結するものであるとすれば、次なる疑問はそれほど低濃度のレスベラトロールが生物学的効果を示し、特異的に循環器疾患に対して保護的に作用するのか、である。この疑問に対する答えはいまだ数少ない。</p> <p>結論： レスベラトロール単独あるいは他のポリフェノールとの組み合わせた錠剤の妥当性を裏付ける実験的なエビデンスを待望する。</p>		